

《第62回》田迎南4町内子ども会 「秋まつり」

育成会会長 守田 美絵

令和4年11月6日(日)に、「秋まつり」を開催しました。

コロナ禍でイベントの少ない日々ですが、5、6年生に祭りの内容を、話し合いにて決めてもらいました。その後、各担当でルールと準備を進めてもらい、みんなで、景品の買い出しへ行きました。どれにしようか？予算内に収めることなど色々と考えていました。

そして、当日は、コロナが増えてきたことを考慮し、全てを屋外開催としました。5、6年生は1時間半前に準備をし、10時半から、祭りをスタート！

子供達は、それぞれのブースを周り、楽しそうに過ごすことができました。ディスプレイをお借りしたことは、本格的な雰囲気となり、さらに大人も楽しめるゲームでした。

最後まで、5、6年は後片付けをし、公民館の掃除をして、解散しました。リーダーとしての自覚が、廃品回収など会を重ねるたびに出てきたなあと感じました。

天気も恵まれ、とても充実した1日になったことと思います。

無事開催できたのも、保護者のサポートも協力してできたおかげだと思います。

参加した、子供は、「たのしかったー」 保護者からは、「とても楽しかったようでありがとうございました」と連絡がありました！



5、6年生が準備を頑張りました。





慎重に
ねらいを定めて



何が
当たった
かな





スーパーボールも
ヨーヨーも
たくさん準備しました

《事務局から》

事務局長 白石和典

- ① 活動報告有り難うございました。写真でも様子がよく分かります。コロナ感染者が増えてきている中に、「行事を中止」ではなく、感染リスクを減らすために全てを「屋外で実施」されたことは適切な判断だったと思います。
これからも「ウイズコロナ」でやり方を工夫して、なるべく中止せず、子どもたちに楽しみ場の・活動の場を作って欲しいと思います。
- ② 意図的に、上級生（5、6年生）に祭りの内容を決めてもらい、その後の準備から後片付けまで一連の活動も上級生に任せられたこの取り組みに敬意を表します。正に市子協がめざしている「子どもによる 子どものための 子ども会活動」そのものの実践例です。会長様が言うとおられるように「リーダーとしての自覚」が育ってきていると思います。そして、下級生への配慮がディスゲッターのラインの位置からも分かります。同時に優しさも育まれていますね。
- ③ これらは、今まで、子どもが主になって活動し、大人がそれを支えるという姿勢を取ってこられたからだと思います。
- ④ 田迎南4町内子ども会の益々の活躍と子ども達の健やかな成長をお祈りいたします。